



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和7年7月1日 No. 7
園長 安藤賢治

なかよくね！～今こそ伝えたい～

*西部幼稚園に、一枚の絵があります。(眠っていた) ぱっと見て「あっ、あの先生の絵だ」とわかる絵です。
萩原文美子先生(若い頃市内小学校で共に務めた経験有り)です。
H16～19年度、本園にて絵画の手ほどきを受けていました。
その頃の作品かと思われます。 …引き込まれます…

* * *

▶こどもたちの世界はどうでしょうか？

“仲良く一緒だと嬉しい”と感じて育っています。

- 遊んでいるお友達に「入～れて」と声をかけます。
「い～いよ」と笑顔で一緒に遊びます。でも、こどもも遊びに真剣ですから、時には集中しています。
そんな時は、「い～いよ」とはなりません。(今は、私がやってるの。だから、入ってこないで…。)



- 1) わかった… じゃあ、またね…
- 2) なんで？ 入れてよ！ 一緒にやろうよ…！
→トラブル発生！ これも、経験のうちです。

- どっちに転んでも“大丈夫”です。
『だって、お友達ですから』その時々で違うこともある。
わかろうとすれば、わかるのですね。相手の気持ちが…。



▶大人の世界はどうでしょうか？(特に、今の世界情勢：あっちでもこっちでも)

“困ったもんだ”と思っています。

- 子供の世界でできる“違っていても、大丈夫！”が、なぜ、できない！！(憤ってしまいます)
「君たちは どう生きるか」・・・どう 生きたいのか？ 純真な心の声を呼び覚ましてほしい。
身に迫る悲惨な現実には置かれたら、平常心を保てない？(想像を超え過ぎている現実がある世界各地)
誰もが、必死に“命”を生きている。それなのに、その“命”が危うすぎる現実が・・・。
子供たちは、どうしているのだろうか。何を感じて、育てるのだろうか。育った先にあるものは？

- 争いを望んでいる人はいないと信じたい。カづくで、こっちに合わせろ…しかできないのでしょうか。

『平和が一番』誰もが、共に笑い合って過ごしてほしい。

* * *

※昨今、クラスを超えて一緒に活動することも増えています。

すると、自然に…(にっこり)
これが、こどもの世界



★そんな今だからこそ！ こどもたちと この日常の延長でもある「楽しい企画」をつくりだしたい！



もし みんなが
この言葉の大切さを知っていたら
「平和」

そして この言葉の不気味さを知っていたら
「戦争」

わたしたちは ひとつになれる！

いろんな色の肌をしているわたしたちが
自然に混ざり合うことができる

人を殺す武器なんていらない
人を責めないで 刃物や銃を使わないで
おとなたちをお願いします

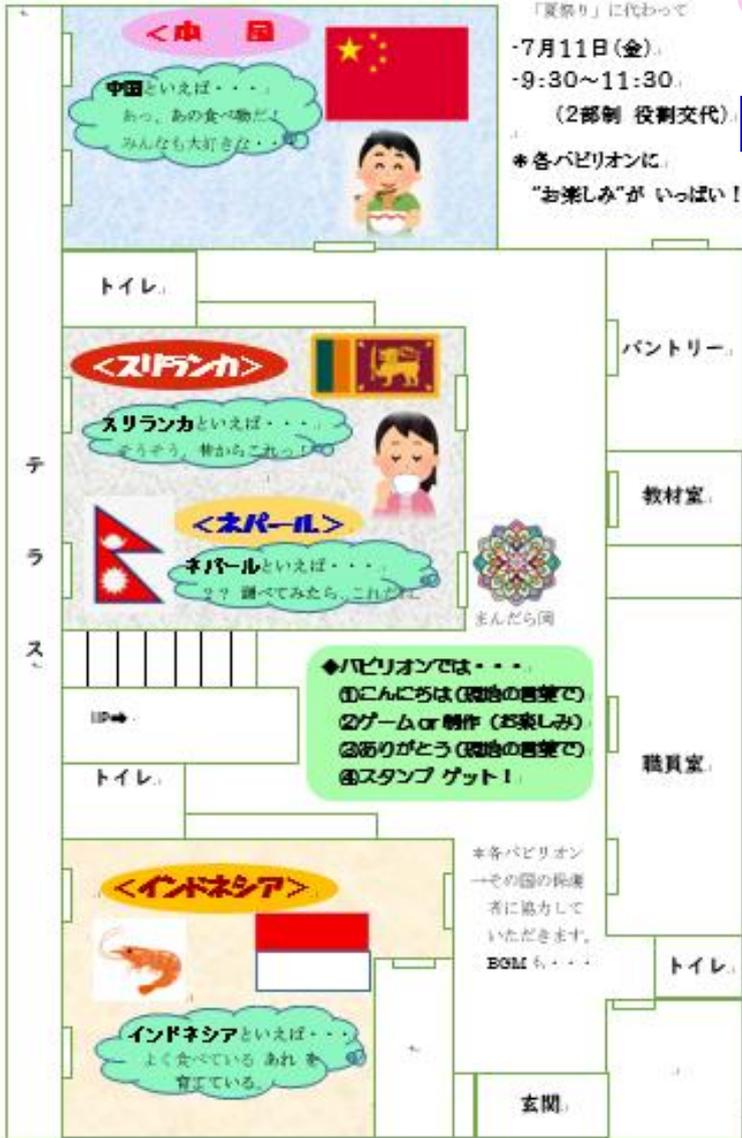
あなたが右手を差し伸べたら
彼女はあなたに手を差し伸べる
左手を差し伸べたら ほら
彼があなたに手を差し伸べたよ

そして みんなで言うの
「また明日ね！」

2024 エニセハウスより

せいぶ万博 2025

【せいぶ万博2025】 ～海外パビリオン～



～仲良くな～
西部幼稚園でも、どこでも…
今年の“夏祭り”は、これだっ!!

西部幼稚園といえば・・・

※お友達は、世界に広がっている！
～どこの国の人とも、一緒だよ～
「この”自然体”こそが、輝く日常」
・大阪で開催中の「大阪・関西万博」
・・・よ～っ！

★西部幼稚園でも、開催するぞ～！

～西部幼稚園の強み～

- * 多様性 みんな違って、みんないい!!
- * 生き合う 認め合って、一緒に育つ
- * 遊びは学び 10の姿につながる芽生え

・・・こどもを真ん中に、家族も先生も・・・
一緒に ～楽しみましょう！～

<只今、着々と準備 進行中！>



【せいぶ万博2025】 ～日本パビリオン～

